

# 愛知県国際農友会だより

## ●平成 25 年度の活動を振り返って

## ●平成 25 年度の主な活動

- ◇平成 25 年度通常総会、◇アセアン農業研修生の受け入れ、◇海外派遣研修生の帰国、
- ◇新たな海外派遣農業研修生の発掘、◇平成 25 年度海外派遣農業研修生の激励、
- ◇国際農業者フォーラム、◇東海・近畿・北陸ブロック国際化対応営農研究会

■発行日 平成 26 年 3 月 31 日

■発行人 愛知県国際農友会

## 平成 25 年度の活動を振り返って

### ～愛知県国際農友会活動について！～

会 長 天野 治（豊橋）



会員交流会、国際農業者フォーラムは、ともに多くの会員のご参加をいただき、その目的を達することができたと思えます。

担当の豊田三好支部、尾張東支部の企画・運営力、その結束力に感謝申し上げます。特に、若い会員の方々の活躍を見て力強さ、そして希望をも感ずることができました。

会員交流の身近な存在である支部、その支部活動の充実を願ってやみません。今年度は海外派遣農業研修生を送り出すことができませんでした。

大変残念ですが、今後より一層の啓発活動に力を入れ、より多くの皆さんに海外派遣農業研修事業を知っていただくよう広報・宣伝活動を行っていきたいと思えます。

今後も本会の活動に対して関係機関のご指導、ご支援をお願いいたしますとともに、会員の皆様のご活躍、そして本会へのご協力をお願いいたします。

### ～県幹部との懇談会を実施して～

副会長 杉浦 知広（西尾）

平成 26 年 1 月 8 日、アイリス愛知にて国際農友会懇談会を開催いたしました。

国際農友会からは、①海外派遣研修希望者の勧誘の強化と、②農業経営士、青年農業士等の認定における国際農友会会員の推薦の促進の要望し、前者は農業高校への啓発活動を行っていく。後者は市町の担当に働きかけていくとの回答をいただきました。

各地域の農業者の立場として、①重油高騰に対する、補助や技術的な支援、②6次産業化における農業経営利用（直売所等）や大規模化に伴う大型機械の導入格納場所としての農地に係る規制緩和、③県農産物の今以上の消費拡大施策の展開、④腰を据えた農家指導ができる普及員の配置と育成、などの要望、意見がだされ、それぞれに回答をいただきました。あまりに活発な協議がされて、もう少し時間がほしいと感じるくらいでした。このような意見のやり取りの中から互いの理解が深まり、よりよい会の運営、個々の農業経営の強化につながっていくのではと期待の持てる懇談会となりました。

懇談会終了後、交流会が開かれ和やかな雰囲気の中、懇談会では伝えきれなかった事や、情報、情勢について語られ大いに盛り上がり楽しい会となりました。

## ～会員交流会を開催して～

理事 浅井 紀好（豊田三好）

平成25年8月1日、豊田市広瀬ヤナにて会員交流会を家族も含めて開催いたしました。

今回もまた皆さん農友会会員のすばらしさを感じることができた1日になったと思えました。

いろいろな人に会うこと、話ことの大切さ、そして年齢の幅はあるものの同じ農業者として、本音で本気の意欲ある話ができる仲間がたくさんいるということ。これこそが我々の宝であると改めて思いました。

これからの日本の農業を盛り上げていくためにも、本当の仲間と未来に向けてすばらしい発想を抱き、意見交換ができる場として、この会員交流会を進化させ、ゆくゆくは日本全国にいる仲間にも声をかけて、交流を継続していきたいとの思いが高まりました。

折からの台風によりこの日は不安定な天気でしたが、皆様のご協力のもと無事に行事を終えることができ、あっという間の一日となりました。

皆様、本当にありがとうございました。

## ～フォーラムを終えて～

理事 大島 智（尾張東）

平成26年2月14日、名古屋東急インにて国際農業者フォーラムを開催しました。

名古屋大学大学院生命農学研究科教授 生源寺眞一先生をお招きし、「TPPと今後の農政を学び、経営者として安全で良質な農産物の安定供給を考える」をテーマに講演していただきました。また事例報告として、当会員の尾張東支部より福岡英憲氏・横山請悟氏・会員外から飯田実氏をお招きし、経営方法や6次産業として行っている商品などを紹介していただきました。

農業における生産環境が著しく変わる今、改めて農業経営者が社会で果たす役割を考える機会となり、またそのような時代だからこそその積極的な経営姿勢は皆様にとっても大いに参考となるものになったと思います。

当日はお忙しい中、かつ生憎の雪でお足元の悪い中、多数の会員様の方々にご出席いただいて誠に有難うございました。

## 平成25年度の主な活動

### ■ 平成25年度通常総会

6月7日（金）、名古屋市の名古屋栄東急インで開催し、平成24年度事業報告と平成26年度事業計画などが承認されました。総会には、愛知県農林水産部長の中野幹也様を始め関係機関の方々に多数御出席いただき祝辞をいただきました。

今回は、総会前に独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部中小企業診断士大槻恭久様から「これからの農業経営の方向性～6次産業化と海外販路開拓～」に関する講演をいただきました。

総会後には、平成24年度中に帰国されました海外派遣農業研修生の帰国報告会、平成25年度のアセアン農業研修生の歓迎会を行うとともに、引き続き交流会を開催し、会員相互の情報交換を図りました。



## ■ 海外派遣研修生の帰国

平成25年3月に平成23年度海外派遣農業研修生の竹谷絵理さん（オランダ）、山内賢人さん（オランダ）、染川大輔さん（オランダ）の3名が帰国されました。

6月の通常総会に行いました海外派遣農業研修生の帰国報告会では、2名の方に研修成果などを語っていただきました。

研修の詳しい内容や感想などについては、平成26年度通常総会で配付する平成23年度海外派遣農業研修生報告書「夢は大きく世界へ」を御覧ください。



### 海外派遣研修生帰国者

帰国者氏名	市町村	派遣先	研修内容	派遣研修期間
竹谷 絵理	東海市	オランダ	酪農	H24. 3～H25. 3
山内 賢人	田原市	オランダ	切り花	H24. 3～H25. 3
染川 大輔	豊橋市	オランダ	野菜	H24. 3～H25. 9

## ■ 新たな海外派遣農業研修生の発掘

7月9日に愛知県立農業大学校において、農大生を始め92名余りの参加者に対して、「海外派遣農業研修事業説明会」を開催しました。当日は、（公社）国際農業者交流協会の相談員石原真様から事業内容や研修の様子を紹介いただくとともに、海外派遣農業研修体験者2名からオランダ研修の体験談をお話いただきました。

また、8月8日と10月11日には、愛知県が行う「海外派遣農業研修生推薦選考会」に協力し、山田有也理事（安城・岡崎支部）が選考委員を務め、受験者に対して審査を行い、優秀だったので、ただちに知事から（公社）国際農業者交流協会に推薦しました。

## ■ 平成25年度海外派遣農業研修生の激励

平成25年度は、渡航前に国内農家における長期間（約10ヵ月）の実習を通じて、海外での研修効果を高めるアプレントイスシップ・トレーニングに愛知県から推薦された都築桜子さんと一般応募の森下宗孝さんの2名が参加し、翌27年度に海外研修に派遣される予定となっています。

平成26年2月14日に開催した国際農業者フォーラムでは、森下さんに参加いただき、研修への抱負などを語っていただきました。

### 平成25年度アプレントイスシップ・トレーニング参加者一覧

氏名	市町村	派遣制度（H27 予定）	研修内容
都築 桜子	西尾市	オランダ・プラクティカル・コース	切花
森下 宗孝 ※	名古屋市	アメリカ・コンビネーション・コース	野菜

※印は、当会からの推薦ではなく、（公社）国際農業者交流協会への一般応募



## ■ アセアン農業研修生の受け入れ

(公社)国際農業者交流協会が実施している「アジア農業青年人材育成事業」により、本会の会員がアセアン諸国等の海外農業研修生を受け入れています。本年度は本県にインドネシアから計4名の青年が訪れ、5月23日から約9ヶ月間、本県の各会員宅に滞在し、研修されました。

本会では、通常総会にあわせて6月7日に海外農業研修生歓迎会を開催したほか、会員交流会や国際農業者フォーラムにも研修生の皆さんに参加いただきました。

また、協会から地方研修を委託され、11月5日から6日の2日間で、愛知牧場、愛知県農業総合試験場、トヨタ自動車元町工場で視察・研修を行いました。



地方研修（農業総合試験場にて）

海外農業研修生と受入会員一覧

研修生氏名	出身	受入会員（支部名）	作目
ワワン ワリピン	インドネシア	内藤完次（西尾）	切花
チェンワン	インドネシア	原 宜延（海部）	切花、水稲
スマルリン	インドネシア	平田正樹（西尾）	切花
ムハマド ヌルディン	インドネシア	横山賢一（尾張東）	野菜

## ■ 好評だった会員交流会！

平成25年度の会員交流会は豊田三好支部が当番となり、8月1日（木）に豊田市の広瀬ヤナで開催しました。会員とその家族、アセアン農業研修生など100名を超える方が参加しました。

当日は、やな体験、川遊びを楽しんだほか、じゃんけん大会では、豪華な商品も用意され多めに盛り上がりました。

豊田三好支部の皆様、お疲れ様でした。



やな体験

## ■ 懇談会の開催

県に対して国際農友会が行う活動紹介とともに、国際農友会および農業者である会員の意見、要望等を伝える場として、1月8日（水）にアイリス愛知を会場として懇談会を開催しました。

県からは、農林水産部長、農林水産部技監、各課の課長及び主幹に出席いただき、本会からは、天野会長と理事が出席し、それぞれの立場から様々な意見・要望が出され、活発な協議がなされました。

## ■ 国際農業者フォーラムの開催

本年度は、尾張東支部が当番となり、会員等約60名の参加のもと、2月14日（金）に名古屋栄東急インを会場として研修会及び情報交換会を開催しました。

なお、情報交換会の中で、海外派遣研修予定者の激励とアセアンの農業研修生の報告会も行いました。尾張東支部の皆様、お疲れ様でした。

### 紹介コーナー

○愛知県国際農友会のホームページアドレス <http://www42.tok2.com/home/nouyukai/index.html>

○公益社団法人国際農業者交流協会のホームページアドレス <http://www.jaec.org/>